

自分のまちを 守りたい

あなたにもできることがあります。



「自分たちのまちは、自分たちで守る。」

「地域防災の要」として

二宮町消防長 林 栄一



本年4月、消防長に就任し、消防組織を担う重責を痛感いたしますとともに、大変身の引き締まる思いでございます。

消防団員の皆様には、仕事や学業などを持ち生業のかたわら郷土愛護の精神に満ち、「地域防災の要」として地域住民の安全・安心のためにご尽力いただき感謝申し上げますとともに、ご家族の皆様には消防団活動についてご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

近年、全国各地でゲリラ豪雨や自然災害による甚大な被害が広範囲にわたるなど、消防団活動も複雑多様化しており、大規模な災害等が発生した場合には、消防署・消防団の連携・協力が重要となり、また大きな消防力を必要とし、地域の防災力としての消防団に寄せられる町民の期待は大きいものとなっています。

今後とも「地域防災の要」として消防の任務遂行のため、そして安全安心に対する町民の大きな期待に応えるため、微力ではありますが誠心誠意職務に精励してまいります覚悟ですので、更なる消防力の充実と強化に消防団員皆様のご協力をお願いいたします。

消防団活動の魅力

二宮町消防団長 池田昌隆



日頃より町民の皆様には、消防団の活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、複雑多様化する昨今の災害は、時と場所を選ばず、どこで発生するか予測が難しくなっており、我々消防団に寄せられる期待は、益々、大きなものとなっています。

この様な中、全国的に消防団員が減少しております。二宮町でも近年、消防団員の確保には苦慮している状況で、毎年、地域の皆様にご協力を頂きながら、団員定員を確保しています。

消防団の活動は、決して生業を犠牲にして行う危険な活動ではありません。消防団活動のメリットはたくさんあります。いざという時に役立つ救命法の技術や防災の知識が身につきます。また、20代から60代までの団員が在籍しており、様々な職業や年代を越えての交流、普段は出会えないような人と知り合い仲間になれるのは魅力であります。

近所付き合いが希薄化している現代、消防団活動を通じて、地域の人々と顔見知りになり、多くの友人をつくることは、子育てや日常生活を営む上で非常にプラスになると思います。

消防団員に興味のある方は、男女を問いません。お気軽にお問合わせください。

消防団員になって

第一分団 大島直人



私は消防団に入団して2年目になります。生まれも育ちも二宮町であり、消防団という存在は知っていましたが自分に声が掛くとは思っていませんでした。

私は入団する前は、消防団は火災が起きたら消防車で現場に向かい消火活動するのが、消防団だと想像していました。

入団してみると、日々の点検や訓練、広報活動がメインの活動であり、想像と違い少し驚きました。しかし、その活動が火災予防に繋がったり、有事の際に、いち早く現場に向かい安全に活動できるのだと先輩やOBの方々から温かく指導して頂いております。今後も日々の活動を大切にして地域に貢献できるように努めてまいります。

二十歳を迎えた機会に

第四分団 吉野圭亮



私が消防団に入団したのは5月の半ば頃になります。消防団については町の防災訓練などで見た事はあり、その頃から興味があったので二十歳を迎えたこの機会に入団させて頂きました。

入団したばかりの今は覚える事が多く、大変ですが毎月の訓練には欠かさず参加し少しでも指導して頂いた事を覚えて、先輩団員の皆様に追いつき役立てる様に頑張っています。

先輩団員の皆様、これからも指導の程よろしくお祈りします。

二宮町に移住して9年

第五分団 香坂政博



第5分団に入団しました香坂政博と申します。緑が丘在住で、仕事は行政書士をしております。

入団のきっかけは、私は、二宮町に移住し約9年が経過しますが、生まれ育ちが隣町の中井町であったため、二宮町の知合い等はおらず、については地域の方との交流は皆無でありました。行政書士として開業した事をきっかけに、二宮町商工会青年部に加入し、様々な活動を行うようになりました。そこで知り合った他青年部員からの熱い誘い等があり、自然な流れで入団いたしました。

今は、消防についての様々な作法を定期訓練等通し習得しようと努力しております。ついては、この消防活動を通じ、二宮町の方々のお力になりたいと思っております。

今後とも宜しくお願いいたします。

やってよかった！消防団！

第二分団 原弘美



入団して感じたことは、すぐに打ち解けられる雰囲気があることでした。私は、57歳という年齢で入団となりましたが、当初は、実際の消火活動の事、訓練活動、団員との年代ギャップ、体力など、

多くの不安を感じていました。

しかし、先輩団員に、丁寧かつ細かく指導して頂き、今では不安も無く、訓練終了後は仲間として楽しい時間を過ごしています。火災及び災害に備えた定期訓練や点検は、緊張感を持って活動していますが、入団間もないうちは、重く暑く感じられた防火衣にも慣れ、ホースを担いで走れる位の体力もついてきました。

これからも、現場を想定した訓練を重ね、分団長の号令の下、安全かつ確実に素早く行動し、今後も楽しく地域貢献、交流を深めていこうと思います。

最高の消防活動 第三分団 大沼英樹

「是非！あなたにも知ってほしい」、「やってよかった」の一言です。長年の分団活動での学びと絆は数え切れません。入団前は、知らないもの＝面倒な事でしょう。私も勧誘を完全拒否していたものの、知人からの懇願で、“やむなく”入団と言う経緯です。地域で、縦だの横だの、私生活には関係ありません。しかし一歩足を踏み込むと全く知らない世界がそこにはありました。



全国消防イメージキャラクター 消太くん

消防器具の取扱い、放水圧の反動、現場では消防署員と肩を並べての火災鎮圧。燃えた思い出の品々、二宮町民の安全を守る為、僅かでも力が出せるならと…分団の仲間・OBの方々の厚意に支えられ、気づけば皆本当の兄弟のようになりました。

似た様な世代、仕事、家庭、教育、様々な悩みを皆が抱えています。親身に聞き、励まし、息抜きで発散し、今は頼りになる大勢の兄貴達、支えてくれる弟達、最高の消防活動が送れました。ありがとう！

消防団員募集

町内在住・在勤で18歳以上の方(男女)なら、どなたでも参加できます。

公務災害補償制度
被服の貸与
退職報償金
表彰制度

問い合わせ
消防本部 消防課
庶務班
☎72-0015

- 第一分団 (川句・釜野・越地・茶屋・梅沢)
- 第二分団 (上町・中町・下町)
- 第三分団 (元町・富士見が丘1・2・3丁目・松根)
- 第四分団 (中里・百合が丘1丁目)
- 第五分団 (一色・緑が丘・百合が丘2・3丁目)

消防団は、通常は自らの仕事を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の人たちのため、社会のために活動している人の集まりです。